

## 「高度医療・人材育成拠点」の整備に向けた検討状況について

### 1 要旨・目的

全国トップレベルの高度医療を提供する機能や、医療人材を育成・派遣する機能を持つ「高度医療・人材育成拠点」の整備に向けた検討を進めており、新病院に必要な医療機能や広島都市圏における医療機関の再編等について、これまでの議論を踏まえて策定した「高度医療・人材育成拠点基本構想」を報告する。

また、拠点の整備に向けた検討を行うため開催した「第4回高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議」及び「第3回高度医療・人材育成拠点の運営形態のあり方検討会」等における主な意見を併せて報告する。

### 2 現状・背景

本県においては、医師や診療科の偏在、高度医療機器の分散、都市部における医療機能の重複などに課題がある。とりわけ、高度な医療資源が集中する広島都市圏において、医療資源を集約化することにより、県内全域を対象に高い水準の医療を提供するとともに、中山間地域の地域医療を維持する必要がある。

### 3 概要

#### (1) 対象者

県民、医療関係者等

#### (2) 実施内容

拠点ビジョンの実現可能性を検討するため、本年4月から救急・小児・がんなどの政策医療を中心に11の分野別分科会を設置して検討を進めており、新病院に必要な主な医療機能や広島都市圏の医療機関の再編等について、関係病院で構成する広島都市圏病院長会議及び拠点ビジョン推進会議において、基本構想として合意が得られた。

また、高度医療・人材育成拠点に求められる役割を確実に果たすための運営形態を検討するあり方検討会を開催し、新病院の運営形態に関する提言がとりまとめられた。

### ア 第4回拠点ビジョン推進会議までの各会議における主な意見等について

#### (ア) 分野別分科会の議題及び主な意見等について（10月3日～10月21日開催）

区分	内容
主な議題	○新病院に備えるべき医療機能はどのようなものか。 ○病院間でどのように役割分担・連携を図るべきか。
主な意見	○ <u>島しょ部（似島、江田島）の救急については、広島赤十字・原爆病院や広島大学病院への搬送により、再編前と大きな差を生じさせることなく確保することが可能ではないか。</u>
救急	
災害	○新病院は、 <u>災害時に患者が多数発生した際に対応可能なスペースや簡易ベッド等の備蓄スペースの確保、医療従事者や患者の動線を考慮した構造とすることが望ましい。</u>

DX	○部門・診療科別の医療機能を具体化する基本計画に向けた現場へのヒアリングも踏まえつつ、引き続きスマートホスピタルとして備えるべき機能を検討していく必要がある。
地域医療	○新病院における総合診療医の育成に当たっては、 <u>若手医師に魅力的な研修を実施するため核となる医師が必要であり、指導医に対する県・広島大学のしっかりとした支援が求められる。</u> ○新病院と中山間地域をつなぐ <u>医師の循環の仕組みの構築に当たっては、それぞれの医師が持つ総合診療医や専門医としての技能の継続性を確保し、医師のスキルアップ、専門性の獲得に配慮する必要がある。</u>
会議構成員	関係病院，医師会，行政等

※他の分科会（小児，周産期，がん，循環器，精神，感染症）については，第3回ビジョン推進会議（9月1日開催）以降の開催なし。

（イ）第4回拠点ビジョン推進会議の議題及び主な意見等について（11月14日開催）

区分	主な意見
主な議題	（分野別分科会等の検討状況及び基本構想案を報告し，意見聴取）
主な意見	○医療的ケア児については過去10年で2倍，人工呼吸管理が必要な児については10倍に増えており，こうした患者を含めて， <u>「全ての県民が安心して質の高い医療を受けることができる」というコンセプトを踏まえた体制を築いていただきたい。</u>
新病院に必要な医療機能	
機能分化連携・再編について	○今回の再編統合は県の地域医療構想に基づくものであり， <u>再編対象となる病院職員の雇用と労働条件の確保，新病院からの患者紹介の確実な実施，病院建替に当たっての財政支援のほか，大学からの安定的かつ継続的な医師の派遣をお願いしたい。</u> ○今後の広島県の出生数を考慮し，小児の心臓手術を新病院と広島市民病院の2施設で続けるのか，引き続き議論してもらいたい。
新病院に必要な人材育成・派遣機能	○新病院における人材育成に当たっては， <u>高度な医療技術や知識だけでなく，患者に寄り添う心を持った医師の育成をお願いしたい。</u> ○県民のための基本構想になっているか。新病院はそもそも県全体の医療を見据えた話だったが， <u>広島都市圏の医療再編に議論が集中しており，その他の地域が今後どうなるのかについて，疑問が残る。</u> ○中山間地域は新病院の開院まで待てない。 <u>県は大学病院，地域の拠点病院，地域医療支援センターと密接に連携し，新病院を待つことなく中山間地域の医療の確保のため取り組んでいただきたい。</u>
その他	○再編対象病院の職員のモチベーション維持，各病院の将来計画に影響を与えることから， <u>県はできるだけ早期の新病院開院を目指してもらいたい。</u>
会議構成員	関係病院，医師会，行政等

※第3回広島都市圏病院長会議と同時開催

イ 運営形態のあり方検討会の議題及び主な意見等について（11月4日開催）

（ア）議題及び内容

項目	内容
運営形態の検討	新病院に期待される役割と課題を踏まえた運営形態の検討 ①政策医療や不採算部門の実施 ②高度医療の提供 ・迅速な投資が可能となる予算執行

	③中山間地域へ医師等が循環する仕組み作り <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の医療機関との人材交流の必要に応じた定員管理，人員採用</li> <li>・優れた指導医，医療従事者を確保するための給与制度</li> </ul> ④複数の医療機関との統合 <ul style="list-style-type: none"> <li>・受け入れ職員の給与保障等に応じるための給与制度</li> <li>・持続可能な病院経営のためのガバナンスの仕組み（①～④共通課題）</li> </ul> 県立安芸津病院の取り扱い 運営形態に対する提言案について
--	---

(イ) 会議構成員（個人）

医療関係者，大学教授（医療経営），公認会計士から構成

(ウ) 会議における主な意見

区分	主な意見
新病院の運営形態について	<p>○新病院は、<u>予算執行，人事，給与制度に係る柔軟な対応と政策医療の確実な実施が求められることから，一般地方独立行政法人（非公務員型）が最も望ましい。</u></p> <p>○地方独立行政法人とする場合，<u>その中期目標を定める広島県，中期目標を達成するための中期計画を作成する新病院それぞれに，企画立案機能をしっかりと整備し，評価委員会の人選等にも配慮する必要がある。</u></p>

(3) スケジュール

拠点ビジョン → **基本構想** → 基本計画 → 基本設計 → 実施設計 → 建設工事 → 開院  
 2022年3月      2022年11月      2023年                      2023～2025年                      2026～2030年      2030年  
 ※スケジュールは現時点の想定

4 令和4年度当初予算  
 93,747千円（一部国庫）

# 高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議 検討体制

## 高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議

### 【構成機関】（21機関25名）

広島大学，広島市立病院機構，日本赤十字社，国家公務員共済組合連合会，医療法人JR広島病院，マツダ(株)，中国電力(株)，特定医療法人あかね会，社会福祉法人恩賜財団済生会支部広島県済生会，社会医療法人清風会，医療法人翠清会，医療法人光臨会，医療法人清泉会，広島県病院協会，広島県医師会，広島市医師会，広島県地域保健医療推進機構，グループ・ネクサス・ジャパン，ここすまネット，広島県，広島市

## 広島都市圏病院長会議

### 【構成機関】（21機関）

広島大学病院，県立広島病院，広島市民病院，広島市立安佐市民病院，広島市立舟入市民病院，広島赤十字・原爆病院，広島記念病院，吉島病院，JR広島病院，マツダ病院，中電病院，土谷総合病院，済生会広島病院，五日市記念病院，翠清会梶川病院，シムラ病院，荒木脳神経外科病院，一ノ瀬病院，HIPRAC，広島県，広島市

## 高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議（分科会）

### 分野別分科会



### 【構成機関】

再編・連携対象病院（診療科長），基幹病院（診療科長），広島大学（診療科長），その他関係医療機関，広島県，広島市

高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議 委員名簿

氏名	所属	備考
荒木 攻	医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院 理事長	
栗井 和夫	広島大学医学部 医学部長 公益財団法人広島県地域保健医療推進機構地域医療支援センター長	
一ノ瀬 信彦	医療法人清泉会 一ノ瀬病院 病院長	
影本 正之	地方独立行政法人広島市立病院機構 副理事長	
河本 昌志	医療法人 JR 広島病院 理事長	
工藤 美樹	広島大学病院 病院長	
外林 浩子	中国電力株式会社 執行役員 経営企画部門 グループ経営推進部長	
土谷 治子	特定医療法人あかね会 土谷総合病院 理事長	
中川 久美子	グループ・ネクサス・ジャパン広島支部 代表	
中川 史	ここすまネット 代表	
檜谷 義美	一般社団法人広島県病院協会 会長	
松村 誠	一般社団法人広島県医師会 会長	会長
松本 公治	社会福祉法人恩賜財団 済生会広島病院 院長	
三井 英夫	国家公務員共済組合連合会 病院部 部長	
向田 一敏	社会医療法人清風会 五日市記念病院 理事長	
山本 匡	一般社団法人広島市医師会 会長	
吉田 和久	マツダ株式会社 執行役員 グローバル人事・安全・病院担当	
若林 伸一	医療法人翠清会 翠清会梶川病院 理事長	
渡部 洋一	日本赤十字社 医療事業推進本部長	
岩崎 学	広島市健康福祉局 保健医療担当局長	
浅原 利正	広島県 参与	
平川 勝洋	広島県 病院事業管理者	
木下 栄作	広島県健康福祉局 局長	
福永 裕文	広島県健康福祉局 総括官（医療機能強化）	
米田 一裕	広島県健康福祉局 総括官（医療介護）	

(五十音順・敬称略)

## 運営形態のあり方検討会 委員名簿

氏 名	所属・職名	備考
影本 正之	地方独立行政法人広島市立病院機構 副理事長	
吉川 正哉	一般社団法人広島県医師会 副会長	
工藤 美樹	広島大学病院 病院長	
谷田 一久	東京都立大学 客員教授	会長
西田 在賢	広島県公立大学法人県立広島大学 特任教授	
林 行成	広島国際大学 健康科学部医療経営学科 教授	
古川 善也	広島赤十字・原爆病院 院長	
山本 恭子	公益社団法人広島県看護協会 会長	
和田 頼知	和田公認会計士事務所（公認会計士）	

(順不同・敬称略)